

## 6 重点項目（特に増客効果大きいと考えられる項目）

担当局	No.	事業名	事業概要	今後の予定他
総合企画局	5	山ノ内浄水場の跡地利用の推進	山ノ内浄水場跡地について「京都市山ノ内浄水場跡地活用方針」に基づき大学を中核に複合的な用途の施設を誘導し、本市西部地域はもとより市全体の活性化や地下鉄増客に資する活用を図るための取組を推進する。	○平成26年度 (南側)京都市立大学京都太秦キャンパス第1期生(学生数2000人規模)の開設に向け、施設準備を支援 (北側)優先交渉事業者の選定 ○平成27年度 (南側)京都市立大学京都太秦キャンパスの開設 (北側)契約締結・用地の引渡し
	9	地下鉄北山駅周辺地域の活性化	植物園や府立大学、総合資料館等さまざまな文化施設が集積する北山地域(北山文化環境ゾーン)の整備を行う京都府と協調し、京都コンサートホールや商店街、地元の関係団体等とも連携した地下鉄北山駅周辺地域の活性化に取り組むことで、更なる地下鉄・市バスの増客を図っていく。	○平成26年度 ・府市協調による取組の推進 ・地域連携組織への参画 (参考)府の動き・京都府立植物園90周年、新総合資料館整備)
	10	東部クリーンセンターの跡地活用の検討	地下鉄駅に近接している東部クリーンセンターの跡地について、市民の皆様からの御意見や地下鉄の増客の視点も踏まえ、京都の活性化のために活用するよう検討を進める。	○平成26年度 跡地の活用方法の検討
	11	岡崎地域活性化ビジョンの推進	平成22年度に策定した「岡崎地域活性化ビジョン」に掲げる将来像の1つである「歩いて楽しい祝祭と賑わいの空間」づくりに向け、官民地域連携のエリアマネジメント組織「京都岡崎魅力づくり推進協議会」を中心に、地域を挙げての催しや魅力づくり、エリア全体での情報発信など、地下鉄・市バスの利用促進につながる賑わい創出に取り組む。	○平成26年度 「京都岡崎レッドカーペット」「岡崎ときあかり」「京都国際マンガ・アニメフェア」との更なる連携を図り、岡崎エリア全体で一体的に取り組む。
	12	下京区西部エリアの活性化	梅小路公園界隈を中心に、交流拠点にふさわしい多彩な地域資源が集積する下京区西部エリアの活性化に取り組む。エリア内の様々な施設・団体等との連携による魅力情報発信や回遊性向上に資する取組を通じて、市バス・地下鉄の利用促進を図る。	○平成26年度 ・下京区西部エリア活性化将来構想の策定 ・地域連携事業の実施
	14	国立京都国際会館の拡充整備に向けた取組	国への要望とオール京都の協力体制の構築により、国立京都国際会館への5,000人規模の多目的ホールの早期整備を実現し、大規模国際会議をはじめとするMICEの推進を図る。	○平成26～27年度 新施設(2500人規模)の設計着手 ○平成27～30年度 新施設の工事着手
文化市民局	12	京都会館再整備事業	文化芸術活動の拠点となるとともに岡崎地域の活性化にも寄与するよう、平成28年1月の開館を目指して再整備に取り組んでいる。再整備後は、舞台機能が向上したホールに加え、新しい憩いの場となるカフェなどの賑わいスペースの設置を予定している。また、オープニング・プレ事業及び開館から1年間にわたるオープニング事業の実施を予定している。	○平成26年度 再整備工事、プレ事業の第一弾の実施 ○平成27年度 竣工、プレ事業の実施、開館(1月)、オープニング事業実施 ○平成28年度 オープニング事業の実施(～12月) ○平成29年度以降 文化芸術事業の実施
	14	PARASOPHIA:京都国際現代芸術祭2015の開催	京都市美術館を主会場とし、世界の現代美術と先鋭的な文化活動の現状を紹介する大規模な国際芸術祭として、「PARASOPHIA:京都国際現代芸術祭2015」を開催する。	○平成26年度 イベントの実施 ○平成27年度(3月上旬～5月上旬) 「PARASOPHIA:京都国際現代芸術祭2015」の開催(約25万人規模)
	22	美術館再整備事業	京都市美術館は、開館以来、日本の美術・文化振興に大きな役割を果たしてきた。しかしながら、美術館を取り巻く状況は時代とともに、変化しており、ソフト・ハード両面からの検討が必要である。こうした現状を踏まえ、京都市美術館が今後とも、国内外を問わず多くの人々を魅了し、世界に誇れる美術館となるよう、求められる役割や目指すべき美術館像を明らかにするとともに、時代の変化に適應した機能・施設の充実等について検討を行っていく。	○平成25年度 京都市美術館将来構想の策定 ○平成26年度 整備基本計画の策定、埋蔵文化財調査の実施
	29	京都マラソンの開催	市民スポーツの振興のみならず、高い経済波及効果や都市ブランドの更なる向上が見込める京都マラソンを開催する。	○平成26年度 平成27年2月15日開催

担当局	No.	事業名	事業概要	今後の予定他
産業観光局	13	京の七夕	「一年に一度、願いごとをする」という七夕にちなんで「願い」をテーマに旧暦の七夕に開催、「堀川、鴨川を竹や光で幻想的に演出し、京都ならではの七夕を表現する。	○平成26年度 開催期間：平成26年8月2日～11日
	14	東山花灯路	東山地域の寺院・神社をはじめとする歴史的文化的遺産、白壁や石畳、門前町などのまち並みを生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、春の訪れを魅力的に表現する。	○平成26年度 開催期間：平成27年3月6日～3月15日
	15	嵐山花灯路	嵯峨・嵐山地域の自然、水辺空間、竹林や歴史的文化的遺産、景観など地理的諸条件を生かし、日本情緒豊かな露地行灯の「灯り」といけばな作品の「花」による演出により、初冬の季節感を魅力的に表現する。	○平成26年度 開催期間：平成26年12月12日～21日
都市計画局	3	空き家対策推進事業	「地域の空き家相談員」等による総合的なコンサルティングを行うほか、地域連携型空き家流通促進事業や支援制度の創設等により、空き家所有者の活用意向を引き出すとともに、空き家化の予防や適正管理の推進等、空き家対策を総合的に推進する。	○平成26年度 ・空き家活用を推進するための、リーフレット等による啓発の実施 ・「地域の空き家相談員」等、総合的なコンサルティング体制の充実 ・地域連携型空き家流通促進事業の拡充・実施 ・空き家所有者の活用意向を後押しするための、活用促進制度の創設 ・空き家の適正管理の推進による活用への誘導
	8	エコ・コンパクトな都市に向けた土地利用の促進	本市の都市計画の基本的な方針となる都市計画マスタープランに示されている土地利用の方針に基づき、エコ・コンパクトな都市を実現するために、地下鉄をはじめとする公共交通拠点周辺における都市機能の集積や充実を目的として、「地域地区の見直しに関する方針」を検討したうえで用途地域等の見直しを行う。	○平成26年度～ 都市計画マスタープランの推進、用途地域等の都市計画の見直しを行う。
	9	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略について、総合的な推進及び点検を図る全庁挙げた「歩くまち・京都」推進本部を設置するとともに、実施プロジェクトの進捗を点検し、社会情勢の変化も踏まえた戦略の充実や見直しを検討するため、関係団体、学識経験者、関係行政機関で構成した「歩くまち・京都」推進会議を設置し、推進を図る。	○平成26年度 ・「歩くまち・京都」推進本部会議の開催（平成27年3月予定） ・効果検証のための調査・分析
	18	崇仁地域のまちづくり	「京都市崇仁地区将来ビジョン検討委員会」からの報告書を踏まえ、住宅地区改良事業を早期完了させるため、土地区画整理事業との合併施行を推進するとともに、「創造・交流・賑わいのまち」の実現に向けた、市民、民間事業者、NPO、京都市立芸術大学などの多様な主体の参画によるまちづくりを推進する。	○平成26年度 土地区画整理事業の導入地域拡大、住宅地区改良事業計画変更
	20	三条京阪駅周辺地域の活性化	都市計画マスタープランにおいて、商業・業務機能の立地誘導、多様な都市機能の集積を図る地域として位置付けている三条京阪駅周辺について、地下鉄をはじめ交通至便な立地環境にある地域のポテンシャルを最大限に生かした土地活用となるよう、三条鴨東地区の改良事業計画の見直しも含め、魅力あるまちづくりを進める。	○平成26年度 住宅地区改良事業計画変更
	4	京都駅南口駅前広場の整備	本市最大のターミナル駅である京都駅の南口駅前広場について、年間5,000万人を超える観光客が訪れる国際文化観光都市・京都の玄関口にふさわしい交通結節機能の向上や、安全で快適な歩行者空間の創出など、利用者の視点に立った広場の整備を行う。	○平成26年度 機械式地下駐輪場工事、駅前広場整備工事 ○平成27年度 駅前広場整備工事
建設局	10	左京岡崎における神宮道と公園の再整備	神宮道（冷泉通～二条通）を歩行者のための空間とし、隣接する公園と一体的に再整備するとともに、ルームシアター京都と一体性をもたせることにより、創作的で豊かなオープンスペースや優れた景観の形成、安全性と回遊性の向上を図る。	○平成26年度 実施設計、工事着手 ○平成27年度 工事
	12	高瀬川周辺一帯の魅力ある水辺づくり	高瀬川は、石積護岸の老朽化が著しく、水枯れがたびたび発生し、良好な水辺環境の保全が困難な状況になったため、護岸の補修工事を実施する。実施に際しては、高瀬川の景観に重要な役割を果たしている街路樹のサクラやヤナギ等に配慮した整備を行うとともに、沿川における他事業や地域との連携も含め、周辺一帯の魅力ある水辺づくりを目指す。	○平成26年度～ 改修工事

担当局区	No.	事業名	事業概要	今後の予定他
北区	3	栲野学区におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域と地元京都産業大学との連携のもと、北区役所・交通局も協働して、「栲野地域における公共交通利用促進会議」を発足させ、地域の方が主体的に地域の公共交通のあり方を検討し、その利用促進を図る取組を進める。	○平成26年度 ・「栲野地域における公共交通利用促進会議」における、学生やバス路線沿線の他地域との協働による利用促進活動の検討
山科区	4	山科・感動ツーリズム推進事業	地下鉄東西線の乗客増と山科地域の観光活性化を図るため、地元住民と行政、交通事業者等との協働の下、山科地域の潜在的な観光資源の掘り起し、磨き上げ、商品化、プロモーションを一貫して行う。	○平成26年度 5月～ 第一弾事業の企画検討の開始
伏見区	10	久我・久我の杜・羽東師地域におけるモビリティ・マネジメントの推進	地域住民の意識と行動に直接働きかけ、過度なクルマ利用を控え、歩くこと、公共交通等を利用することへの転換を促す取組であるコミュニケーション施策(モビリティ・マネジメント)を、久我・久我の杜・羽東師地域において実施する。	○平成26年度 ・2か月に一度のバスに関する地元の方とのワークショップ開催 ・バス利用の促進に向けたイベント開催 ・MMニュースの発行 ・バスの駅開設に向けた推進
交通局	15	区役所・支所と連携した取組の推進	地下鉄5万人の増客目標の達成に向け、区役所・支所と連携して、区からの情報発信により、区外から集客できるような取組を展開する。 (連携事業の推進、コトチカ広場などの駅スペースの活用、ポスター・チラシ等の掲出など)	○平成26年度 各区・支所への営業活動やモデル事業の実施
	16	地下鉄駅周辺散策ガイドの作成	駅ごとの個性を活かし、地下鉄駅周辺の見どころをめぐる散策ガイドを作成し、地下鉄のお客様の増客に繋げる。	○平成26年度 関係機関と連携し、各駅周辺の散策ガイドを制作
	19	京都学園大学との連携による地下鉄利用促進策の推進	京都学園大学と締結した連携協定に基づき、地下鉄・市バスなどの公共交通の利用促進や太秦天神側駅周辺地域の活性化を促進する。	○平成26年度 京都学園大学との協定締結(4月28日) 共同PRの実施
	27	京都エリアウォーク京都ぐるりの実施	賑わいまちづくりコンソーシアムとの連携により、地下鉄の増客と地下鉄駅周辺地域の魅力の発信を目的として、駅を基点としたウォーキングツアーを実施する。	○平成26年度 5月：4コースにて開催 6月以降：順次開催
	31	地下鉄のダイヤ見直しの検討	地下鉄の更なる利用促進と利便性向上のため、終電の延長も含め、ダイヤの見直しを検討する。	○平成26年度～ 増客に向けた地下鉄ダイヤ見直しの検討